

## 転換期における「教育と福祉」についてお伺いします

児童虐待や子どもを対象にした凶悪な犯罪など子どもの人権が侵害される事件が増加しています。精神的に不安定な子どもや発達障害、引きこもり・不登校といった社会環境に適応しにくい子ども達が増えています。

猪名川町には子どもの育ちに関する計画として次世代育成支援行動計画「いなっ子きらきらプラン」と新しい猪名川の教育「わくわくスクールプラン」があり、それぞれが「子ども」にかかわる重要なプランとして住民参加の元で作成されました。今後これらを実施していくにあたり、安心して子どもを育てる環境づくりには「子どもの成長に合わせた支援や相談に関する窓口の一本化」が望まれます。防犯面、青少年問題の取り組みに関しても子どもが小さい時から、親も共に学び考える一貫した取り組みが必要と思われます。

今後、少子化対策、次世代育成支援に向けて0歳から18歳までの子どもに係わる行政の継続性を保つための組織の見直しが必要ではないかと考えます。

住民にとってわかりやすい行政組織をめざして教育委員会に子ども課を新設し、保健・医療・福祉・教育行政の一元化を図ってはどうかと思いますが町の考えはどうでしょうか。

## 特別支援教育について

一人ひとりの子どもが「安心して安全に暮らし、育つまち」を目指し、これまで以上に個々の特性に応じた関わり、環境整備をしてゆくことが求められています。

特別支援教育に関しては、平成16年の3月議会で質問しておりますがその後の現状と将来に向けての取り組みをお聞かせ下さい。

従来の「障害児教育」の範囲をこえて子育て・教育に専門的な工夫や手間ひまをかけることによってすべての子どもが育つ環境の質の底上げを図ることが望まれます。

## 障害者自立支援法が成立し、変わる地域支援の制度について

13日の文教厚生常任委員会協議会の中で制度の概要また今後のスケジュールについて聞かせていただきました。まだ具体的な動きはないということでしたが、考え方も含めて少しお伺いします。本町では「障害者区分認定」「審査会」についてどのような考えを持たれているのでしょうか。

1. アセスメント調査の実施と認定。  
サービス利用の意向聴取 ケアプランの作成はどこがするのか。
2. 障害者専門のケアマネージャーの配置はあるのか。  
相談専門員研修が2月にあり、それに出席しないと相談業務にはつけない  
猪名川町から研修参加の有無は。

障害者自立支援法の数少ない評価点といえは裁量的経費から義務的経費へ変わったということですが、実際は国が認める経費の1/2が保障されるというだけで義務的経費と地

域自立生活の確立はイコールではないということです。今の水準をどれだけ守れるかということが今後の課題となってきます。支給決定にかかわる説明は、できるだけ早い時期に周知するようにしてください。

## 食育と地産地消、給食のパンについて

食育基本法が成立し7月15日に施行されました。近い将来、地域においても食育基本計画の作成が求められてくることと思います。

地域における「食育」の手始めは学校給食を変えることにあると言われています。

本町の学校給食センターではすでにPTA連合会による給食献立コンテストのメニューを取入れ地元の野菜を使った献立を工夫されるなど、地域や保護者と共に食育や地産地消を進められています。しかし残念ながらパンについては他市の業者からの納入です。

他の自治体では米粉を使ったパンを学校給食に使用したり専用のパン工房を設立したり農家、行政、地域のパン職人の指導協力を得ながら法人によるパン屋を実施に向けて試み、地産地消の取り組みを進めているところもあります。

朝焼きのパンを子ども達や高齢者施設の昼食に届けることによるふれあいの心や「食」を通して地域が子どもの育ちを支えるというしきみを、農協や商工会、道の駅、行政や地域団体と協働して新しい担い手づくりや地域事業として展開していくことはできないか。

社会現象となっている就職に困難な若者たちの社会参加への支援、団塊世代の定年者に対する活動の場としても持続可能な地域づくりにむけ、検討してはどうかと考えています。給食のパンや地産地消について町の考えをお聞かせください。

## 「参画と協働」について

住民参加の取り組みはここ数年、交流や地域活動の促進を支援し、進められてきています。後期総合計画では『今後は、住民の参画と協働をより一層促進するため、参加政策の計画、実行、評価の各段階における住民の参加のあり方について、さらに検討を深め、システム構築につなげていくことが重要。』とあります。

また、「参画と協働に関する懇話会」は17年3月に提言『共に考え・共に歩む 自治都市猪名川』をまとめ 町長に提出されました。

今年は町政施行50周年記念事業や国体リハーサル大会などがあり住民と行政の協働における課題も見えてきました。安全・安心のまちづくりにおいても協働して子どもたちを守っていかなくてはなりません。今後どのような取り組みをしていくのかお聞かせください。